



著者プロフィール

櫛部天思（くしべ・てんし）本名 櫛部隆志

昭和42年 愛媛県生
昭和60年 「第15回全国学生俳句大会」 高校生の部
推薦大賞
昭和63年 「第18回全国学生俳句大会」 大学生の部
推薦大賞
平成元年 県立高校教諭として奉職。現在に至る
平成4年 現代俳句協会会員
平成6年 「櫟」入会
平成7年 「櫟」特別新人賞
平成8年 「櫟」同人
平成10年 公益社団法人俳人協会会員
平成16年 第10回「櫟賞」
平成22年 日本学生俳句協会賞（一般の部）
平成24年 愛媛県高等学校文化連盟文芸専門部長
平成26年 「櫟」副主宰
平成27年 愛媛新聞文芸欄選者

〈句集『天心』より転載〉〈2016年9月19日時点〉

『天心』（自選15句）

櫛部 天思

一月や一月といふ心にて
初鶏や日出づる国の一教師
餅花が揺れ嬉流の太柱
卒業のはなむけ海の鳴りにけり
揚雲雀不惑の胸を張りにけり
山笑ひ海笑ひ墨泣いてをり
天職は教師と応へ蝸牛
青嶺照る雲のあはひに雲の影
山河いま甦らむと鷹柱
喜寿米寿卒寿白寿の踊りけり
海峡へ校旗を掲げ秋澄めり
葱提げてすなはち田舎教師かな
先生よ師よ十二月十四日
天心に星のあがりし寒鯉
雪嶺のかくもしづかに師を憶ふ